

『語って書こう -心をひらく作文活動-』（30分程度）

藤井瑞葉／日本語指導等協力者（小田原市教育委員会派遣）

1 子ども	中学1年生（来日3年）
2 目標	安心できる対話の中で、話す力・書く力を育てること ことばを使うことへの意欲・自信を引き出すこと
3 活動	雑談→対話→作文 ① 最近の出来事や気になっていることを自由に話す。 ② 雑談から生徒がテーマを選ぶ。（例：部活のこと／変な校則／小説の登場人物など） 質問をしたりイラストを描いたりしながら内容を深めていく。 ③ 対話やメモ、イラストをもとに、生徒自身が書きたい内容を選び、短い作文を書く。 書いた後に一緒に読み返しながら、修正していく。
4 工夫	雑談では、「もっと話したい」と感じられる雰囲気づくりを意識し、日本語で話すことへの抵抗感を和らげた。テーマは生徒自身が決めることで、主体的に会話を進められるようにした。対話では、イラストを描いたりキーワードをメモしたりすることで、内容を整理しやすくし、作文につながる手がかかりとした。作文では、まず自由に書くことを大切にし、その後一緒に読みながら表現を整えたり、より伝わる言葉に言い換えたりした。